



弥刀中学校だより

M みとめあい I いつでも T ともに O おもいやる みとっ子 (R5.1.10 発行)

冬の寒きを経ざれば春の暖かきを知らず

校長 本多 正樹

新しい年を迎えました。今年の正月は天候にも恵まれ、保護者・地域の皆様には、ご家族とともに健やかな新年をお迎えになられたことと存じます。新しい年を迎え、教職員一同、心を新たに子どもたちの健全育成に全力で取り組みたいと思います。昨年同様にご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

さて、17日間の冬休みでしたが、おかげさまで休み中は事件や交通事故などもなく、子どもたちは元気に3学期を迎えることが出来ました。2学期の終業式で、3年生の高い意識での学校生活、2年生の気づきと頑張り、1年生のより良い仲間づくりについて話しました。新年を迎えた今、新たな夢や目標をもって学校生活を始めた人も多いと思います。一人ひとりの夢や目標こそが、頑張れる源であり、人生を豊かにしてくれる鍵になります。目標をしっかりと定め、意志を強くもち、目標の実現に向けて努力を重ねてほしいと思います。

「冬の寒きを経ざれば春の暖かきを知らず」ということわざがあります。植物は冬を越えてこそ春に美しい花を咲かせることができます。人間も苦労があるからこそ楽しさや喜びを感じることができるのです。困難を経験することで生きている意味も分かり、生きることの楽しさや厳しさを味わえるのです。特に、3年生は今、進路実現という困難に直面していますが、その試練に真剣に向き合い、乗り越えていく力が試されます。逃げない決意と立ち向かう覚悟を決めたとき、きっと新しい状況が生まれ、希望への光が見えてくるはずです。とはいえ、本番が近付くと不安な気持ちになるのは当然なことです。こうした不安の中にいるのは自分一人だけではありません。高校受験に臨む多くの受験生は同じ心境の中にあり、同じ思いで本番を迎えようとしているこんな時こそ、ぜひこれまで学校生活を共にしてきた仲間がいることを思い出してほしいと思います。志望する進路はそれぞれ異なりますが、気持ちではみんなで支え合い、みんなでこの受験という壁を乗り越えてほしいと思います。受験は個人戦ではなく団体戦です。

また、1、2年生にとってもこれからの3か月は、それぞれの学年のまとめの時期でもあり、そしてまた、4月からの新たな学年の準備の時期でもあります。“0学期”という言葉がありますが、これは次の学年のために行動面や意識の面で準備をするということです。特に、1年生は、この4月には新入生が入学してきます。先輩と呼ばれて、恥ずかしくないようにきちんとした生活を心がけ、学習、部活動に一生懸命に励んでほしいものです。また、2年生はこの4月には最上級生になります。それは、1、2年生のよき模範であり、学校の顔として責任ある行動が求められます。この0学期の間に、弥刀中学校の最上級生としての自覚を培ってください。特に、学習・生活面にしっかり取り組んできたことや、あいさつも含め礼儀正しく、学校行事にも本気で取り組む姿勢などこれからも伝統として引き継いでほしいものです。

最後に、ご承知のとおり、新型コロナウイルスの感染拡大が心配な状況です。感染力が強く、重症化も懸念されると報道されています。ご家庭においても、これまでと同様に適切な感染予防対策をよろしくお願いいたします。